



カザフスタン共和国
Republic of Kazakhstan



たばこ産業の特徴

1. シガレットの市場規模はCISで第3位。年間消費数量は230～250億本と推定されている。
2. 公式統計では2003年の国内製造数量は254億本である。
3. Philip Morris Kazakhstanが約80%のシェアを占めている。JTI Central AsiaとGallaher Kazakhstanが各12～18%のシェアである。
4. 規制は比較的少ないが、2004年1月1日から印刷と電子メディアによるたばこ広告が禁止された。

[1] 法規制等

警告文等:

包かにはロシア語とカザフ語で健康注意表示が必要。

喫煙場所規制:

病院、政府建物内は喫煙規制。国内航空路線は喫煙禁止。

広告規制:

その他メディア、広告内容、デザインで規制あり。

[2] 税制

物品税		2 Local Currency Unit(LCU)/1000本
販売税	小売り価格に対して	20%
輸入関税	小売り価格に対して	30% (最低課税 3 LCU/1000本)

(Local Currency Unit: LCU(テンゲ)、 1USドル=146.80テンゲ)

[3] 喫煙者プロフィール

成人喫煙率 平均32.9%

[4] 市場概況

- 過去数年、カザフスタンのたばこメーカーは堅実な成長をしてきたが、2004年1月時点で年間16.1%減少し
- カザフスタンのシガレット消費市場はCISでは第3位であり、年間230～250億本と推定されている。
- 公式統計では2003年の国内製造数量は254億本で、Philip Morris Kazakhstanが約80%のシェアを占めており、JTI Central AsiaとGallaher Kazakhstanが各12～18%のシェアであると推定される(2003年)。
- 残りはBAT、Imperial、その他の輸入製品で占められている。
- 2003年11月にPhilip Morris KazakhstanはAlmatyの原料処理工場に1,400万ドルを投資すると発表した。
- この工場は1日当たり7.5トンの原料葉たばこを処理する。1993年以来Philip Morris Kazakhstanは3億2,300万ドルを国内に投資している。
- 違法製品の流入を防ぐために2003年10月1日から物品税証券制度が導入された。

シガレット関係データ (単位 100万本)

	1980年	1990年	1995年	2000年
製造数量	11,966	12,485	12,080	19,293
輸入数量	NA	NA	2,400	3,770
輸出数量	NA	NA	550	853

企業シェア (2000年)

Philip Morris	75.00%
JTI Central Asia	8.50%
Gallaher	6.90%
CNTIEC-Kazakhstan	3.00%
その他	6.60%

主なシガレット・メーカー

Almaty Tobacco Co.(Philip Morris)
 Gallaher
 JTI

[5] 製品概況

主要ブランド:

Parliament, Marlboro, L&M, Benson & Hedges, Bond Street, Congress, Optima, Soyuz-Apollo, Kazakhstanskie, Medeo, Polet, Prima, Next.

平均小売り価格:

0.37USDル(出典 TJI 2001年)

[6] 葉たばこ概況

主産地はAlmatyの北東エリアであり、かなりの量の葉たばこが生産されている。2000年の生産量は約16,000トン、品種はオリエント葉とセミオリエント葉である。

Philip Morris Kazakhstanは葉たばこ生産に投資しており、Talgarでのたばこの生産量は過去10年間に10倍になった。

葉たばこデータ (単位 トン)

	1980年	1990年	1995年	2000年
葉たばこ生産量	NA	NA	1,680	16,160
葉たばこ輸入量	NA	NA	2,400	3,770
葉たばこ輸出量	NA	NA	550	853